



—みらい通信No.22 平成23年10月9日(日)発行—

みらい通信は、会員さんをはじめ、愛知県・岐阜県・三重県の児童

養護施設、自立援助ホーム、里親会にお送りしています。

発行者 関戸 敏夫・編集者 蛭沢 光

☆祝みらい発足3周年記念号メニュー☆

- ①なごやかサポートみらい3周年を迎えて
- ②第1回児童養護施設や里親家庭で暮らす高校生対象大学等助成制度説明会を終えて
- ③第1回わくわく集会を終えて
- ④名古屋市主催自立宿泊研修を終えて
- ⑤こどもっと主催ピアキャンプを終えて
- ⑥エビちゃんの社会的養護知ってクレヨンNo.1
- ⑦お知らせ&お願いコーナー
- ⑧企画案内(詳細チラシ)

なごやかサポートみらいとは？

私たち社会的養護の当事者推進団体「なごやかサポートみらい」は、乳児院や児童養護施設・里親家庭で育った人たちを中心とした仲間が集う任意団体です。その他に児童福祉施設の職員、里親、学生、教員、研究者といった多種多様な人たちが会員となってみらいの活動をつくっています。

施設や里親家庭で育ってきた人たちや現在生活している子どもたちが明るく、幸せなみらいを過ごせるように、今できることをみんなで楽しく、なごやかな雰囲気の中でやっていけたらと願っています。ぜひ一緒に何かたのしいことをやりませんか？各種活動についての詳細は当会のホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



なごやかサポートみらい 3周年を迎えて



学習会から始まったこの会は、当初「子来(みらい)として活動していましたが、途中で諸問題が発生し、会が無くなるかもしれないという状況になりました。とても良い活動を始めていたので何とか続けられるように、私が初代の代表となり組織創りを2008年9月21日に、名称も新たに「なごやかサポートみらい」としました。名称の由来は「なごやか」は、名古屋となごやかを掛け合わせ、就労支援や生活相談などの「サポート」を行い子来は「みらい」と平仮名に変更して、色々な思いの詰まった名称です。

活動については、学習会「わくわく集会」、「講演会」、「なごやかサロン(居場所・相談事業)」、名古屋市内の施設に入所している中高校生を対象に

した「自立宿泊研修」、東海三県の児童養護施設に伺い行事のボランティア、子どもや職員の方との交流を深めてきました。また、施設を退所する前の高校生を集めて「自立とは」という話を退所した先輩から話をしてきました。

現在、社会的当事者の当事者グループが全国に9団体ありますがなごやかサポートみらいはその中でも大変活動エリアの広い地域で活動を展開しています。各地域で活動している内容や相談内容等も様々です。各地域の当事者グループがみんなで一緒に困った時などに助け合えるように、2010年4月に「社会的養護の当事者グループ全国ネットワークこどもっと」を朝日新聞厚生文化事業団のご協力を頂き発足することが出来ました。

現在は、(だいじ家(栃木県)・日向ぼっこ(東京都)・こもれび(千葉県)・レインボーズ(鳥取県)・なごやかサポートみらい(名古屋市))の5団体が2～3月に1回程度、各地域から集まり各団体の活動報告など話し合っています。今後、加盟グループが増え益々発展していくことと思います。学習会などを通して当事者の皆さんが社会的養護の制度政策やこれからの社会的養護のあり方について学べる機会を設けて、なごやかサポートみらいでも全国ネットワークこどもっとでも幅広い皆さんの意見を厚生労働省や関係機関へ発言できるように頑張っていきたいと思います。

私は、名古屋は「どえりゃーええとこ、どえりゃーええ人が沢山いる」ので、これからも5年10年と続いていく活動だと思いますので、当事者とご支援頂ける方々、施設関係者、行政機関の方などと一緒になごやの東海地方の社会的養護を良くしていき、将来は、名古屋から社会的養護の発信が出来るように皆さんで頑張っていきたいと思います。私は、みらいの相談役として、全国の当事者グループの代表として社会的養護のグループが増えて皆さんがより良い活動、支援が出来るよう頑張ります。

社会的養護の当事者グループ全国ネットワーク
こどもっとホームページアドレス

<http://www.kodomot.jp/> です。是非ご覧ください。

なごやかサポートみらい相談役
全国ネットワークこどもっと

代 表 清 水 真 一

第1回児童養護施設や里親家庭で暮らす 高校生対象大学等助成制度説明会を終えて



6月19日(日)に日本福祉大学名古屋キャンパスにて「第1回児童養護施設や里親家庭で暮らす高校生対象大学等助成制度説明会」を行いました。東海三県の約20施設からご参加頂きました。説明会全体の参加人数としては約70名でした。お忙しい中、本当にありがとうございました。

ここで参加者からの感想を一部ご紹介します。
また12月4日(日)には「第2回児童養護施設や里親家庭で暮らす高校生対象大学等助成制

度説明会」を名古屋市総合社会福祉会館にて行う予定です。チラシは後ろにありますのでご覧下さい。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

《アンケートより》

・施設で就業を担当しています。やはり職業の選択肢を広げるためにも進学を勧めてはいるのですが、現状(学費面等)で厳しいものがあり、あらゆる奨学金の手続きをしています。今回はいろんな意味で勉強になりました。(施設職員)

・具体的な奨学金のお話を伺うことができ、とても参考になりました。一緒に参加した高校生も、先輩の話を聞いてとても勉強になったと思います。(施設職員)

・現在、自分の通っている学校の友達はみんな一般家庭です。父子家庭、母子家庭もいない状況で正直不安です。しかし、今日参加してみて、進学は不可能ではないし、自分と同じ様に施設に入っている子で進学希望の人はこんなにいるんだと思いました。良い時間が過ごせたと思います。(施設で暮らす高校生)

・学費についての不安があり、職員の方と色々話し合っていたのですが、今回奨学金のお話を聞かせていただき、自分がやりたいことをやれる大学に行けることがわかって良かったです。

(施設で暮らす高校生)

・色々な人が似たような悩みを抱えていることがわかり、少し安心した。それに、実際に奨学金で大学に進学し、今でも生活している先輩方の話を聞いたことで、大学に行きたいという思いがより強くなり、またそれが不可能でないということがわかったことで、自信になった。

(施設で暮らす高校生)

子どもたちに進学の道もあるということを強く伝えたい。進学するには・・・職員・里親が様々

な奨学金や助成制度をまずは「知ること」が

スタートではないか。一緒に考えていきましょう。何かあればいつでもなんでもご相談下さい。



第1回わくわく集会を終えて

わくわく集会は今年で3年目になります。毎回本当にたくさんの方々にご参加頂いています。みんなで共に学び合えるあたたかい集会です。

わくわく集会は施設・里親出身者が経験してきたことを大いに語る場です。また未来の児童養護のためにも当事者または学生・現場で奮闘している人たち同士が自分たちのおもいや考えを本気で交わし合っしてほしいと思います。そして、そこから見えてくる様々な養護問題や今後の課題を共有し、「子どもたちが育つにはどんな環境が必要なのか？」をみんなの知恵を寄せ合い、なごやかな雰囲気研鑽できたらと願っています。

ここで参加者からの感想を一部紹介します。

第2回目はいつかな～？

日 時・・・10月30日(日)

10:00～15:30

場 所・・・愛知県司法書士会館

参加費・・・会 員100円

未会員500円

※詳細は後ろにありますのでご覧下さい。

《なんでもようしより》

- ・色々な職場から集まっていて、それぞれの話を聞く事ができました。異なる立場でも似た部分があり、現場は生きているものだと思います。知識より経験に重点が置かれるので、現場へ積極的に参加していこうと思いました。(学生)
- ・今回は自立支援という事で、今後社会的養護に関わり、子どもたちを支援していくためには、どの年齢の担当になろうと知識を蓄えて、職員・施設で支えていけるようになりたいと感じました。進学等子どもたちの未来を、可能性を消していかないようにしていきたいと思いません。(学生)
- ・平井先生のお話はとても考え深いものでした。最後には「待ってるよ」という姿勢を忘れずに

子どもと接していきたいです。熱く養護について語れる方が多く、それだけで心強く感じます。ありがとうございました。(施設職員)

名古屋市主催

自立・就労意識向上研修を終えて

8月8日(月)・9日(日)の2日間で行われました。今年は中学生まで参加幅を広げ、参加者は中学生と高校生合わせて約40人でした。会もとても有意義なものになったと思います。なごやかサポートみらいは協力という形で毎年関わらせていただいています。1日目の「先輩からのメッセージ」で先輩たち7人が様々な体験を語り、一緒に「自立」について考えました。難しくてもこういった機会があることは非常に大きいことだと思います。運営スタッフとして2日間通して会を見守ってくれた関戸会長・清水さん・外山さん・成田さん・浅井さんありがとうございました。これからもがんばりましょう。

(蛭沢)

こどもっと主催ピアキャンプを終えて

私は中学3年から高校を卒業するまで、岐阜の児童養護施設で生活していました。今は施設を出て、一人暮らしをしながら福祉の大学に通っています。

なごやかサポートみらいさんとは、6月に行われた、第1回児童養護施設や里親家庭で暮らす高校生対象大学等助成制度説明会に呼んでいただいたことがきっかけでお世話になっています。それ以来、様々な活動に参加させていただいています。

9月の23日、24日、25日に、全国の児童養護施設から20名ほどの高校生が参加する、ピアキャンプに行ってきました。

今回は、初めての参加ということで、フリースタッフとして活動をしました。子どもたちと直接関わる場面は少なかったですが、みんなの元気で楽しそうな姿を見ていると、こちらまで元気になりました。こんな暖かいキャンプに、私も施設にいる間に参加したかったなと思いました。

来年は、グループに入って活動させていただけるそうなので、今からとても楽しみです。早くまた



みんなに会いたいです！（浅井）



エビちゃんの社会的養護知ってクレヨンNo.1

10月2日(土)・3日(日)と愛知県名古屋市で行われた全国里親大会に参加してきました。たくさんの参加者数でした。600名以上という話を耳にしました。大会の行政説明の中で今後の社会的養護の方向性を説明していました。これからは家庭的養護の推進と児童養護施設の地域化を言っていました。児相・施設・里親・行政・地域等様々な関係機関が連携を取り、子どもにとっての最善の支援をしていかなければならないと強く感じました。

愛知県の知多地域の里親さんたち中心で立ち上げた「明日の社会的養護を考える里親の会～虹の架け橋～」は本当に子どもたちの最善の利益のために日々尽力されている素晴らしい、あたたかい団体です。学生さんなど色々な人が関わっています。社会的養護は養護児童を社会全体で育てていくための大切なものです。そこを忘れずに私もできることからやっっていこうと思います。（蛭沢）
～ここで三学出版より新刊案内～
どうしよう こんなとき!!（定価 1,000円）

児童養護施設の若き実践者のために

编者

吉村 譲（愛知東邦大学）

吉村 美由紀（日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター）

伊藤 貴啓（名古屋芸術大学）

長谷川 真人（こどもサポートネットあいち理事長）

内容

児童養護施設に就職されて1～3年目位の間で起きた子どもとの間でのトラブルや困難なケースで未解決、あるいは先輩からのアドバイスで解決した事例等これから児童福祉施設に就職する学生や施設で今まさに奮闘している若手職員の参考書となるようにと、現場で悩み苦しんでいる事例や日常的に出あった困難事例等を現在現場で頑張っている若手職員から書いていただいています。

お知らせ&お願いコーナー

なごやかサポートみらい みらい基金にご協力下さい!!

★みらい基金とは・・・？

みらいの活動全般に使わせて頂きます。また年度末には施設や里親家庭を巣立って、就職・進学する子どもたちへ当会から記念品を贈呈する事業を行う予定です。皆様からのあたたかい気持ちをお願い致します。

ゆうちょ銀行からの振込先は

記号 12120

番号 89396971

口座名 社会的養護の当事者推進団体なごやかサポートみらい

ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込先は(UFJやりそなや名古屋銀行など)

【店名】二一八(読みニイチハチ)

【店番】218 普通預金【口座番号】8939697

【口座名】社会的養護の当事者推進団体なごやかサポートみらい

※ゆうちょ銀行の口座からの振込は無料ですが、他の銀行口座からの振込は手数料がかかります。手数料は募金して頂ける方の負担となります。

なごやかサポートみらいは、会員さんから頂いた会費や活動に賛同頂いた方からの寄附金や助成金を使って、運営・活動をしています。なごやかサポートみらい運営委員一同心より感謝申し上げます。

★平成23年度会費納入がお済みでない方は早期の納入を宜しくお願い致します。(詳細は別紙)

★今後の予定 ※変更する場合があります。

10月18日(火)運営会

10月30日(日)第2回わくわく集会

12月4日(日)第2回児童養護施設や里親家庭で暮らす高校生対象大学等助成制度説明会

※12月には忘年会を予定しています。11月

にお知らせします。

☆会員登録状況 平成 23 年 10 月 9 日現在
 学生 5 名・一般 76 名・団体 6 団
体

 合計会員数 81 名・6 団体
通信No.23 は平成 24 年 3 月発行予定で

す。

※このあと色々な企画の案内があり
ます!